

子ども会（学習会）だより

MY SKY No. 2

マイ・スカイ

1997年4月30日水曜日発行（毎週火曜日子まぐれ発行）

発行者

板野中学校

学習会

編集・文責：吉成正士

前号に書き忘れていたことが一つありました。それは、靴を取られた3年生の女の子のもとに、彼女の靴が戻ってきたということです。久々の感動でした。いつもいつもそういうふうにはいかないものかもしれませんが、必死で訴えれば、やはり思いは通じるのだと思います。

何事も「すぐに効果が現れる場合」と、「なかなか効果が現れない場合」があると思いますが、繰り返し繰り返しねばり強く働きかけていくことが、やはり大切なんでしょうね。どうしても短気になって切れかけてしまうのですが、それでは解決しないのでしょうか。そんな本当の強さと本当の優しさを、この同和教育、部落問題学習を通じて、身につけていきたいと思います。

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼

☆ 学級開き・参観日・そして家庭訪問

4月も終わり、もう5月ですね。といっても、ゴールデンウィークもあり、一息ついてるところでしょうか。みなさん学級はどうですか？うまくいってますか？もうすでにいろんな学校行事が終わりましたが、意味のある行事となったでしょうか？

どの学級でも、部落問題学習を中心に同和教育に取り組んでいると思いますが、タイトルにある行事とこれらの学習がうまく結びつくと、実に楽しくて愉快なものになっていくんですよ。みなさんの学級や家庭ではどれくらい結びついていたのでしょうか？といっても、詳しく説明しないとよくわからないかもしれませんね。一つの例として、お話しさせてもらいます。

『学級開き』つまり、1学期の始業式や入学式の日、初めて顔を合わせたクラスメイトや先生に対して、どんな気持ちで臨むのか？何事も最初は肝心です。この最初の第一声に何を話すのか？この瞬間を、意味ある一瞬にするのも、単に差し障りなく終わらせるのも、その場にいるみなさん次第です。かつて私はこの一瞬に、差別解消に向ける思いとして、それまでの生徒との関わり、自分の家族との関わり、自分の醜い差別意識に触れながら、「それでも自分はやっぱり差別は許せん！だからこの1年、みんなとともに差別解消に向

けて歩いていきたい。そしてそれを実現していこうとするクラスこそ、差別もいじめもない集団へとつながっていくはずなんだ」というお話をしてきました。本当の真剣な思いに触れ、生徒のみんなも^{こた}応えてくれたように思います。つまり、何でも言い合えるクラスですね。

そしてそういう思いを受け、『参観日』の「道德」の授業に向けて、学級で何時間か取り組んでいくんです。目標がはっきりしてるから、頑張れるんですね。そして本当に真剣に取り組んでいればお家^{うち}の人に「参観日来んでええけん」とは言わないんですね。逆に「絶対来てよ。5分でええけん来てよ」なんて言えちゃうんです。そんな参観日なんて、いいと思いませんか？こんな流れを、今年もやってたクラスがありました。そのクラスから届いた生徒のみなさんの感想文を、ここで紹介しておきたいと思います。

今日は初めての参観日でした。一時間目の道德は、発表をしてみんなに自分の思いを伝えることでした。しかし、僕はいつもと違っていたので、手が挙がりませんでした。せっかく友達や先生が言ってくれてるのに、発表しようと頭では思っているんだけど、手を挙げる勇気がありませんでした。

けれど今日は、手が挙がりました。さっきまで勇気がなかったのにと思いました。それは、自分に勝ったから手が挙がったんだと思います。勇気を出してみんなに思いを伝えられたらとてもうれしいし、友達もわかってくれるから、発表は頑張って手を挙げたらいいなと思いました。毎日頑張ったら勇気がついてきて、知らない間に成長するんだと思いました。

前までのお母さんは、「〇〇くんは4回で、□□くんは3回で、あんたは3回〇〇くん^に負けとんでー」と言うようなことが何度かありました。発表の回数や関係ない。自分の思いが友達や先生に伝わったらそれでいいと思った。けど、お母さんは変わりました。先生のお話を聞いてきてから、お母さんは「友達を大切にせなあかんのじよそれと今日^のみんなの発表良かったなあ。友達と心が通ったら育つし、たぶんこのクラスは、明るくなると思う」と言っていました。お母さんは、「おまはんも、先生みたいに友達を大切にできる子になりなよ」と言いました。今日の参観日は良かったです。

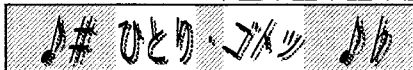
★ ☆☆ ★★★ ☆☆☆ ★★★★★ ☆☆☆

今日は初めての参観日でした。私のお母さんは、ちょっと用事があって来れませんでした。本当は少し来て、私や友達が言っていることを聞いてほしかったです。後の少しは、^は恥ずかしいから、来てほしくないという気でした。

今日は晴れて、太陽はピカピカでした。でも、少し寒かったです。そのせいかわかりませんが、足がガクガクして、声も震えそうでした。ちょっとだけ緊張きんちようしていたのかもしれませんが。とにかくカメラはまわってるし、みんなのお母さんが見てるから、緊張するのは当たり前です。先生は緊張していましたか？

少し早めに授業を始め、お母さんたちもたくさん来ました。私は初めの方はドキドキして手なんて挙げられませんでした。ところどころ手を挙げる子はいました。よくそんな勇氣あるな一って思いました。心の中には言いたいことたくさんあるのに、いざとなると手を挙げて発表できませんでした。でも、なんだか空気がなごんできてすーっと手を挙げられました。そして、先生に名前をさされたときは、ドキッとしました。次だ！次だ！と思いながら、紙に書いてある言葉を読み直しました。そしてついに、私の番が来ました。少しつまっていて、読みにくくなったけど、自分の気持ちをはっきり言え、みんなに届いていたのが、何よりうれしかったです。それから、みんなどしどし手を挙げていました。私は一回きりでやめてしまいました。後から手を挙げてれば良かったと少し思いました。

こんな参観日を手土産てみやげに持って、今度は家庭訪問へと向かうんです。もうここでは、同和教育や部落問題、学習会のことがバンバン話することができます。つまり、日頃あまり触れたくないこと、触れると話がややこしくなるかなと思えるようなことが、簡単に話せるようになるんですね。こう考えてみると、これら三つの行事がうまく結びつけられ、すごく有意義なものになっていくのが少しわかってもらえるんじゃないかと思います。さて、みなさんのクラス、家庭ではどうでしたか？もし「あれっ？もったいないことしたかな？」と思った人は、今日からが、これからが学級開きと思って、再スタートしてみてください。遅いことはありません。機会はあるはずですよ。今年1年が、どの人にもよい1年となるよう、がんばってみましょう！



つい先日、ある週刊マンガを読んでいる中で、学校給食のカレーにゴキブリを入れるという嫌がらせをしている場面ばめんが出ていました。オエーツと思いつつ、私は数年前本校に起こった事件を思い出しました。今ではその時のことを知る先生方も少なくなり、事の重大じゅうだいさも薄れつつあるようで悔しいのですが……。あのときはゴキブリではありませんでしたが、やはりカレーに異物いぶつを混入こんにゅうさせ、同級生にいじめをしようとしていたのです。まさに、一歩間違えば人の命をも奪うばいかねない大事件だいじけんでした。

22日(木)18:30～ 山川町アムニティセンター
23日(金)19:00～ 吉野町民スポーツセンター
25日(日)14:00～ 脇町小学校体育館
28日(水)13:30～ 18:30～ 鴨島町中央公民館

30日(金)18:30～ 徳島郷土文化会館
6月 1日(日)14:00～ 牟岐町海の総合文化センター
3日(火)18:30～ 石井町中央公民館

前売券については全会場共通になっていて、一般3000円、小中高生1000円となっています。お問い合わせは板野中学校吉成までお願いします。

詩とうたと劇がおりなす劇団はくるま座の不朽の舞台
全国500回以上の
ロングラン

原爆で受けた屈辱が
平和を愛する人々の涙で洗われる
その目はいつか！

音楽詩劇

夏の約束

平和

嵯三吉《原爆詩集》より
磯永秀雄《作品集》